

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | PARCウィル伏見 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 5日 | | 2025年 1月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16人 | (回答者数) 9人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 1月 21日 | | 2025年 2月 1日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7人 | (回答者数) 7人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | お子さん、保護者に寄り添った支援ができる。成長の発達過程についての共有や、多職種による様々な視点からの支援が可能。今後もよりお子さん一人一人に沿った内容の支援を提供していく。 | 日々のお子さんの状態を都度、保護者に共有。モニタリングや日々のお悩みを聴取し、それに対するアプローチを行っている。 | より支援計画の内容に沿った支援を行い、支援の充実化、具体的な目標を持ったものにする。 |
| 2 | 療育内容の充実 | 多職種がいることがうちの強みであり、それにより療育の内容の充実化が図れている。保育士による療育、療法士による姿勢の評価等、看護師による身体のケアを受けながらの療育への参加が可能。 | よりスタッフ全体が療育への参加意識を高め、お子さんの日々の様子を把握し、状態に合わせての参加環境を検討していく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 同じサービス間同士での繋がりが薄い。 | 地域全体での交流がないため、発信源がない。 | 全体でもお子さん同士の交流の場を考案、提供していく必要がある。 |
| 2 | 保護者が参加できるイベントの充実 | 保護者を呼んでのイベントは、夏に一度、春の卒園、卒業式のみ | 大々的なイベントだけではなく、保護者同士も交流ができるような場を提供していきたい |
| 3 | 災害対策訓練等の実施 | 開設して1年が経過し、防災訓練等を実施できている。しかし自然災害や、急変対応とさまざまなケースが考えられるため、今後はより内容の具体性を持たせて実施していく必要がある。 | 近年自然災害が多いため、より緊急時の対策について考える必要がある。さらに医療的ケア児も通所されているため、万が一の緊急時対応も事前に検討が必要。 |